



2026年3月期 第3四半期

# 決算説明会資料

2026年2月6日



*For a Lively World*

表紙写真:エディオンピースウイング広島(広島市)  
© 大成JV [第66回 BCS賞(日建連表彰)]

© 大成建設株式会社 / Taisei Corporation. All rights reserved.

# 1. サマリー

## 2026年3月期 第3四半期決算

- 売上高は減少したものの、各段階利益は過去最高益。
- 純利益の通期目標に対する進捗率は**74.9%**と順調。
- 単体売上総利益率は2Qレベルを維持し、**土木21.9%・建築10.9%**。

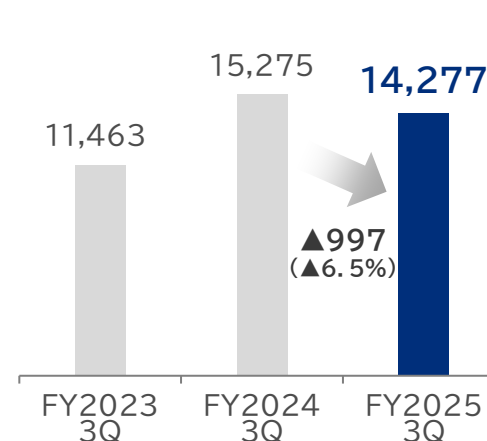
## 政策保有株式縮減

- 2025年4月～12月で**491億円**を売却するも、株価上昇影響により、連結純資産比率は**32.8%**

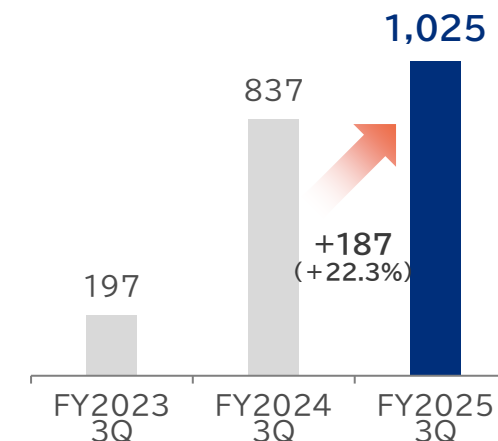
## 東洋建設の影響

- **第3四半期期首より連結**するも、営業利益以下への影響は限定的。
- セグメントは**土木・建築**およびその他
- のれんは7年均等償却。3Q償却額は**21億円**。

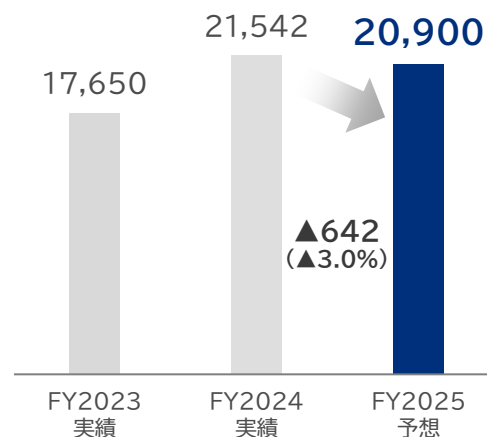
## 連結売上高(3Q) (億円)



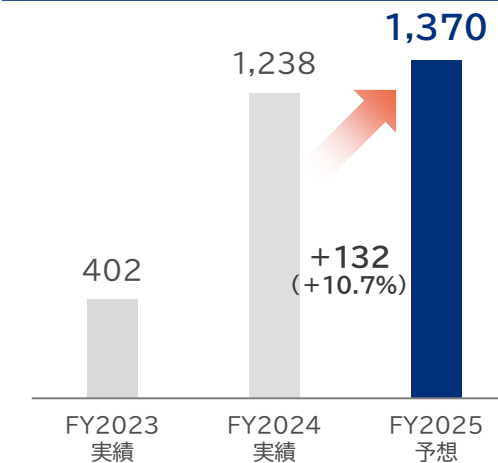
## 連結四半期純利益(3Q) (億円)



## 連結売上高(通期) (億円)



## 連結当期純利益(通期) (億円)





# 2026年3月期 第3四半期実績

---

- 2.主要数値の実績と予想
- 3-1.受注高
- 3-2.売上高
- 3-3.売上総利益
- 3-4.単体・完成工事利益率
- 3-5.販売費および一般管理費
- 3-6.営業利益
- 3-7.経常利益
- 3-8.四半期純利益
- 3-9.(参考)当期純利益
- 4.グループ会社業績
- 5.バランスシート

## 2. 主要数値の実績と予想

- 第3四半期実績は、土木事業・建築事業における売上総利益の増益額が、国内建築事業の減収、販管費の増加、営業外損益および特別損益の悪化といった減益額を上回り、各段階利益はいずれも過去最高益となった。

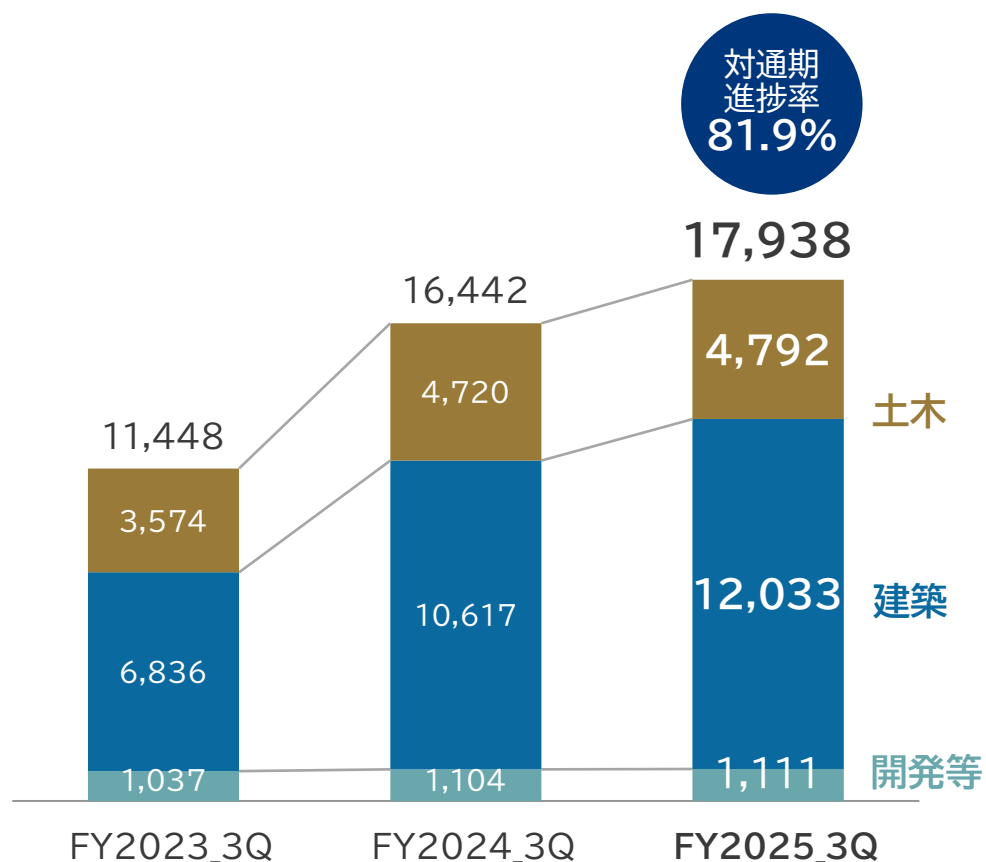
(単位: 億円)	FY2024 3Q 実績	FY2025 3Q 実績	対前期	3Q進捗率 (対通期予想)	FY2025 通期 予想
受注高	16,442	17,938	+1,496	81.9%	21,900
売上高	15,275	14,277	▲997	68.3%	20,900
売上総利益	1,567 (10.3%)	2,179 (15.3%)	+611 (+5.0pt)	74.1%	2,940 (14.1%)
営業利益	799 (5.2%)	1,223 (8.6%)	423 (+3.4pt)	82.7%	1,480 (7.1%)
経常利益	925 (6.1%)	1,304 (9.1%)	+379 (+3.0pt)	85.9%	1,520 (7.3%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	837 (5.5%)	1,025 (7.2%)	+187 (+1.7pt)	74.9%	1,370 (6.6%)
1株当たり 四半期純利益(円)	457.17	615.38	158.21	74.5%	826.44
ROE	—	—	—	—	15.8%

## 3-1. 受注高

第3四半期実績は、単体国内建築における大型工事の受注、  
および東洋建設の連結子会社化により対前期で**9.1%**増加

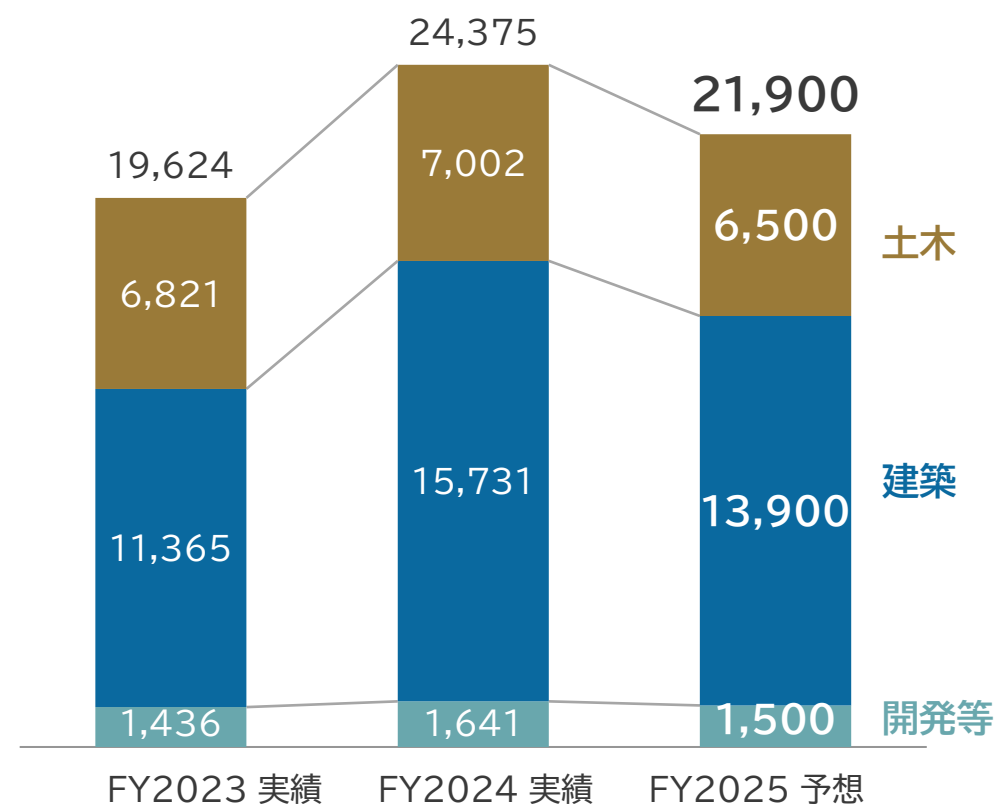
### 第3四半期実績

(億円)



### 通期予想

(億円)



# (参考)主な受注案件

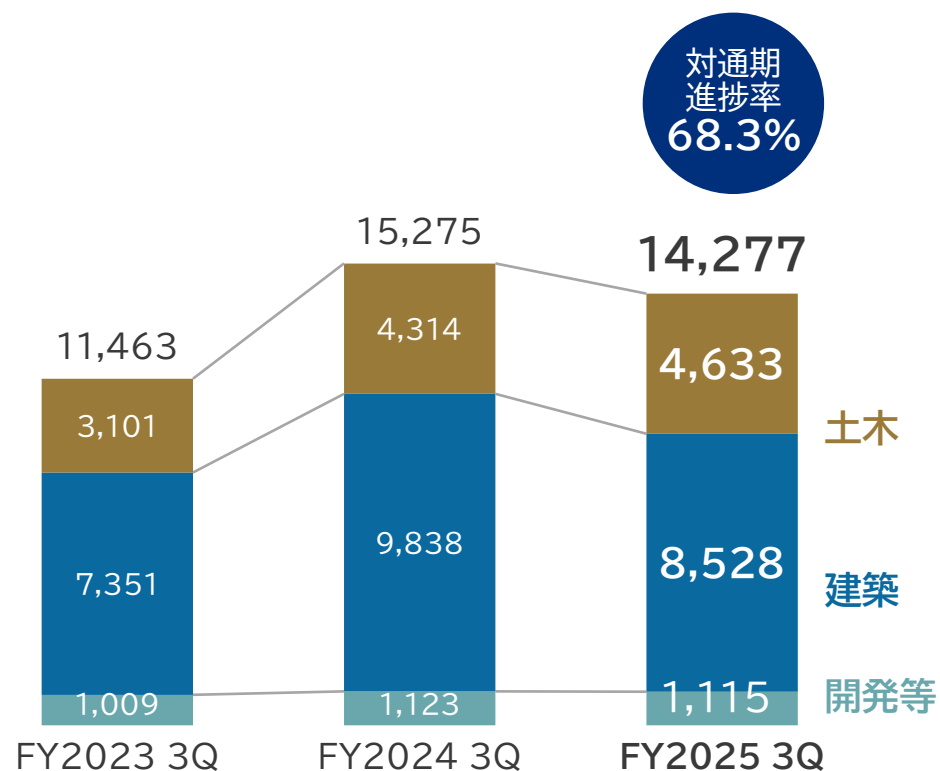
土 建	受注期	区分	工事名称	施設用途	発注者	産業分類
土 木	3Q	[官公庁]	石神井川上流地下調節池工事	治山・治水	東京都	都道府県
	1Q	[官公庁]	甲山浄水場更新事業 新浄水場建設事業	上下水道	姫路市	市区町村
	3Q	[民間]	なにわ筋線JR堀江シールドT他土木工事	鉄道	関西高速鉄道(株)	運輸業
	1Q	[民間]	電炉2工区EAF電気室基礎建設工事 他	土地造成 (工場基礎)	JFEスチール(株)	鉄鋼業
	3Q	[官公庁]	(国)178号浜坂道路Ⅱ期 浜坂第1・第2トンネル(仮称)建設工事	道路	兵庫県	都道府県
建 築	1Q	[民間]	(仮称)品川駅西口地区A地区新築計画	事務所	京浜急行電鉄(株)	運輸業
	2Q	[民間]	大通西4南地区第一種市街地再開発事業の内、施設建築物等新築工事	店舗	大通西4南地区市街地再開発組合	サービス業
	3Q	[民間]	南渡田北地区北側開発計画研究棟B新築工事	教育・研究・文化	ヒューリック(株)	不動産業
	3Q	[民間]	東海大学伊勢原キャンパス1号館耐震化推進事業(仮称)新1号館他新築工事	医療施設	学校法人東海大学	サービス業
	2Q	[民間]	白金一丁目西部中地区第一種市街地再開発事業施設建築物等新築工事	住宅	白金一丁目西部中地区市街地再開発組合	サービス業

## 3-2. 売上高

第3四半期実績は、単体国内建築において、首都圏大型工事を中心に工程が初期段階にあるため、工事進捗による売上貢献が低位となり、▲6.5%の減収。

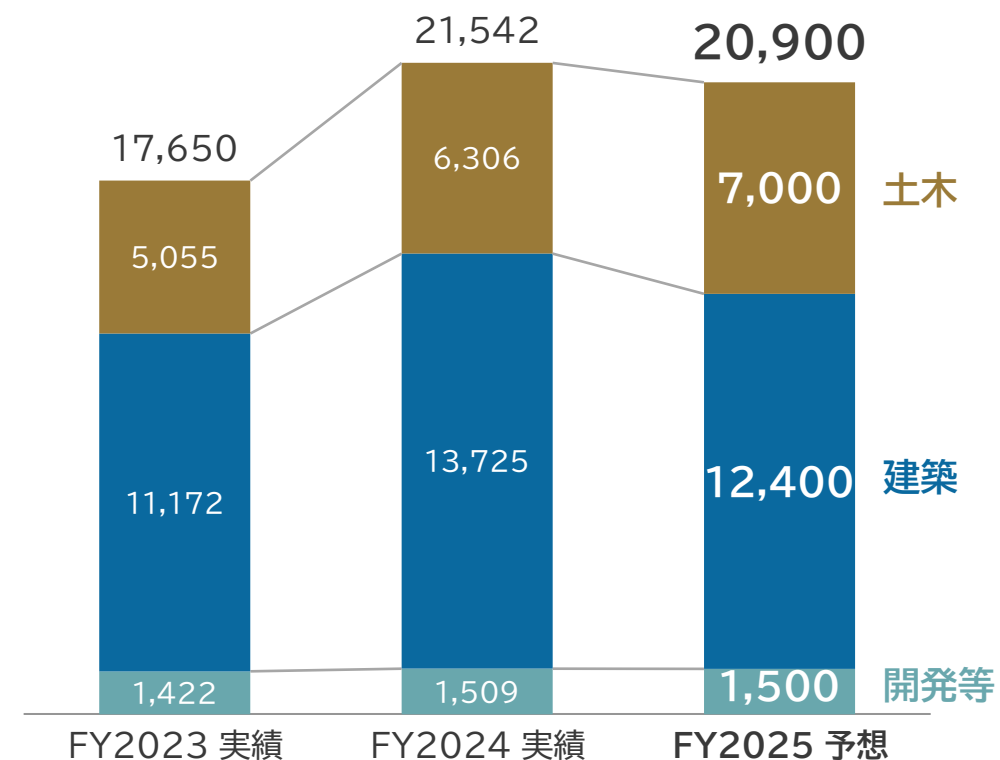
### 第3四半期実績

(億円)



### 通期予想

(億円)



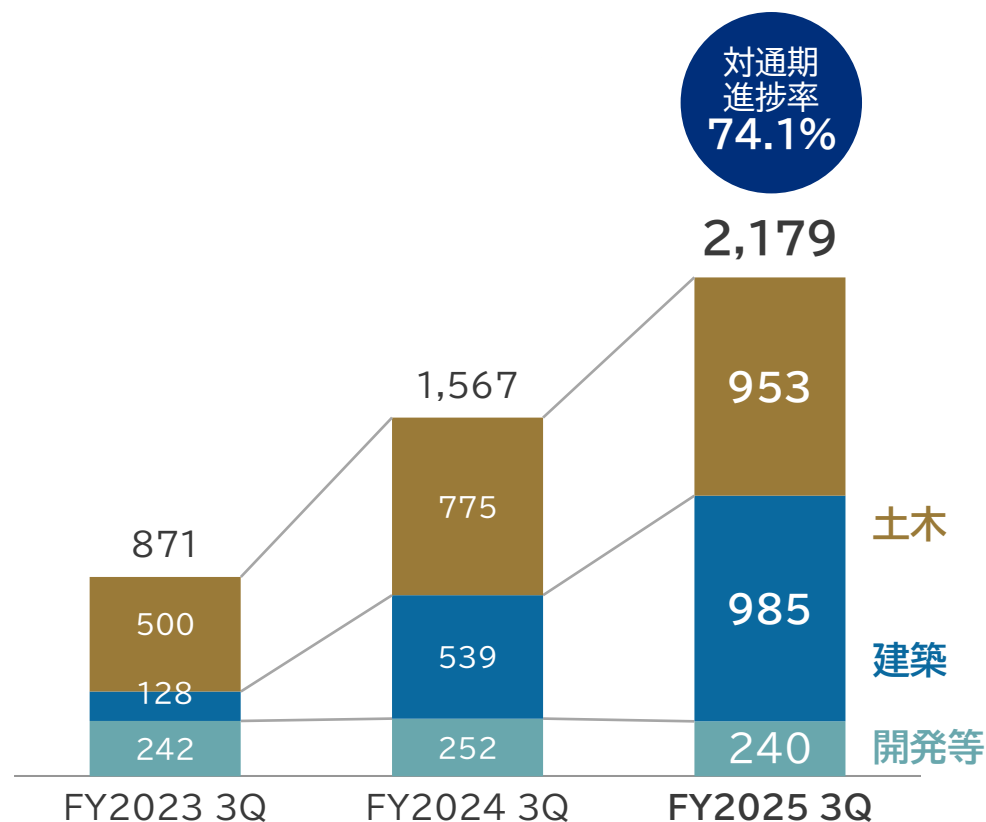


### 3-3. 売上総利益

第3四半期実績は、土木事業・建築事業において追加工事の獲得・原価低減が進んだことに加え、建築事業における受注時採算の改善も寄与し、利益率が好転したことから対前期で**39.0%**増益

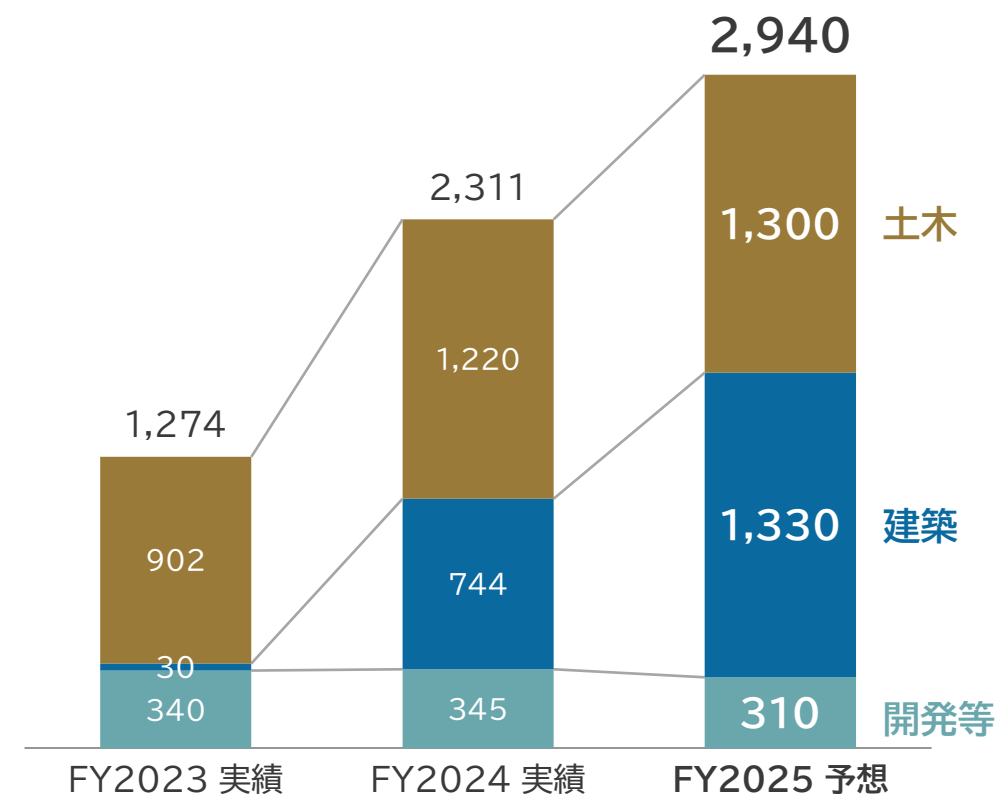
第3四半期実績

(億円)



通期予想

(億円)



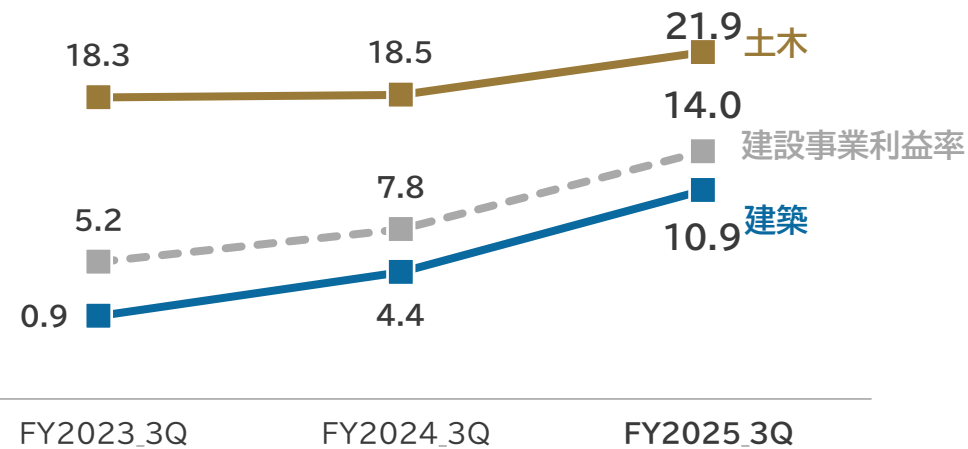


## 3-4. 単体・完成工事利益率

第3四半期実績は、**土木21.9%**(対前期+3.4pt)・**建築10.9%**(対前期+6.5pt)と対前期で好転。

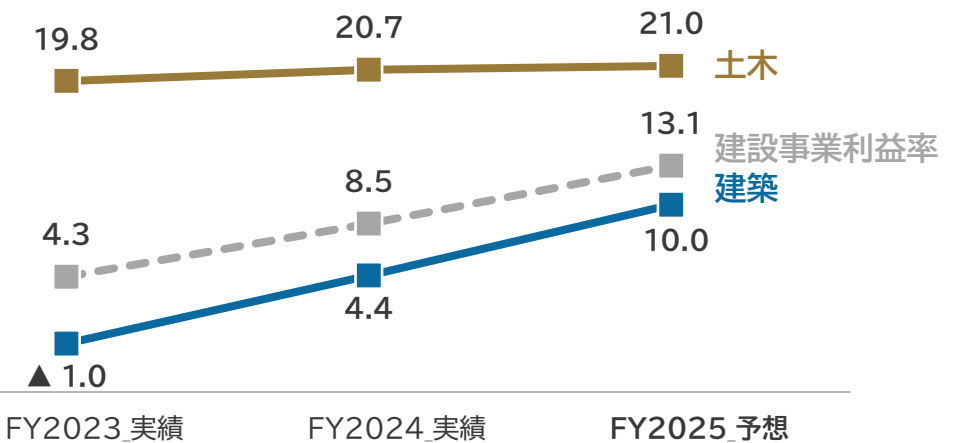
### 第3四半期実績

(%)



### 通期予想

(%)



### 工事損失引当金 増減内訳

(億円)

	2025年 3月末	期中増減額(4月-12月)			2025年 12月末
			繰入	取崩	
土木	99	▲2	11	▲13	97
建築	924	▲192	28	▲220	732
合計	1,023	▲194	39	▲233	829

### 売上総利益の増減要因(対前期)

(億円)

	売上 総利益 (3Q累計)	対前期 増減	増減要因	
			売上高 の増減影響	利益率 の変動影響
土木	604	104	11	93
建築	759	382	▲27	409
合計	1,364	487	▲16	503

## 3-5. 販売費および一般管理費

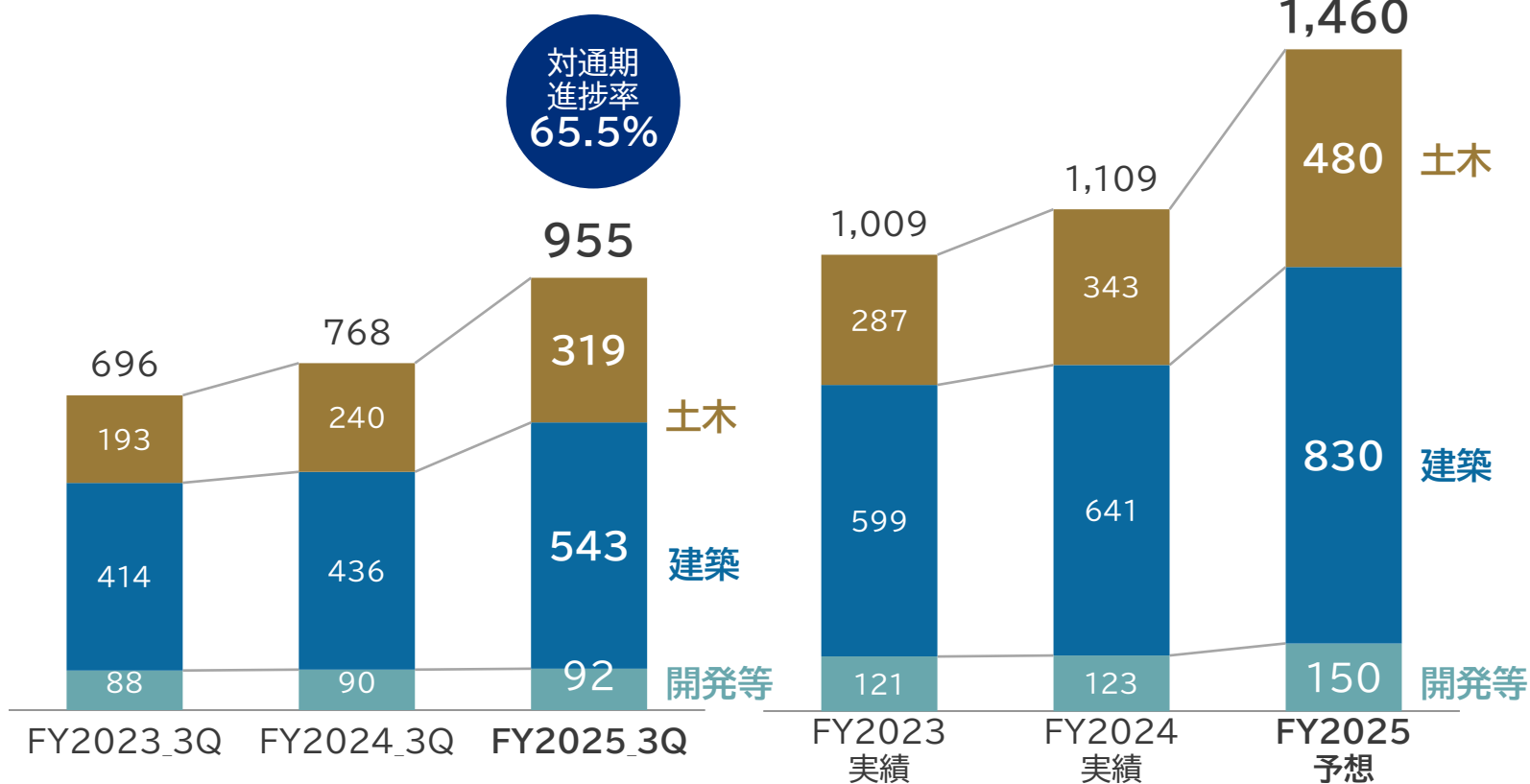
第3四半期実績は単体における人的資本投資の増加に加え、  
東洋建設の連結子会社化により対前期で**24.4%**増加

第3四半期実績

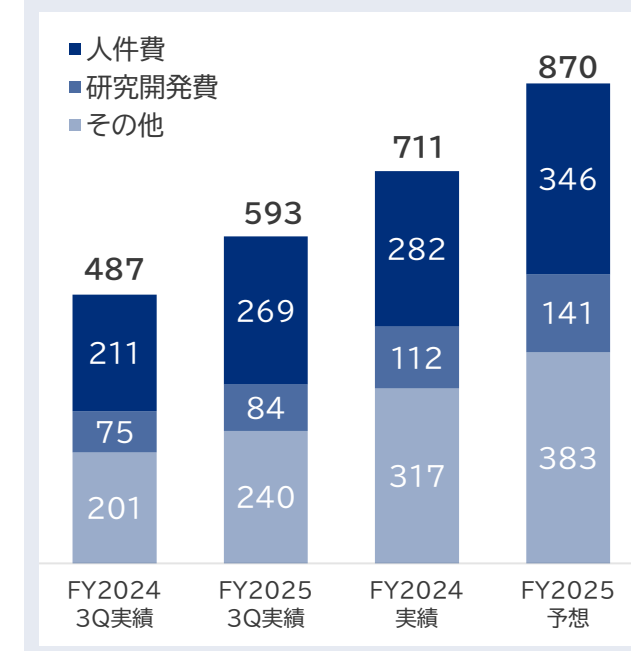
(億円)

通期予想

(億円)



販管費内訳(単体)



## 3-6. 営業利益

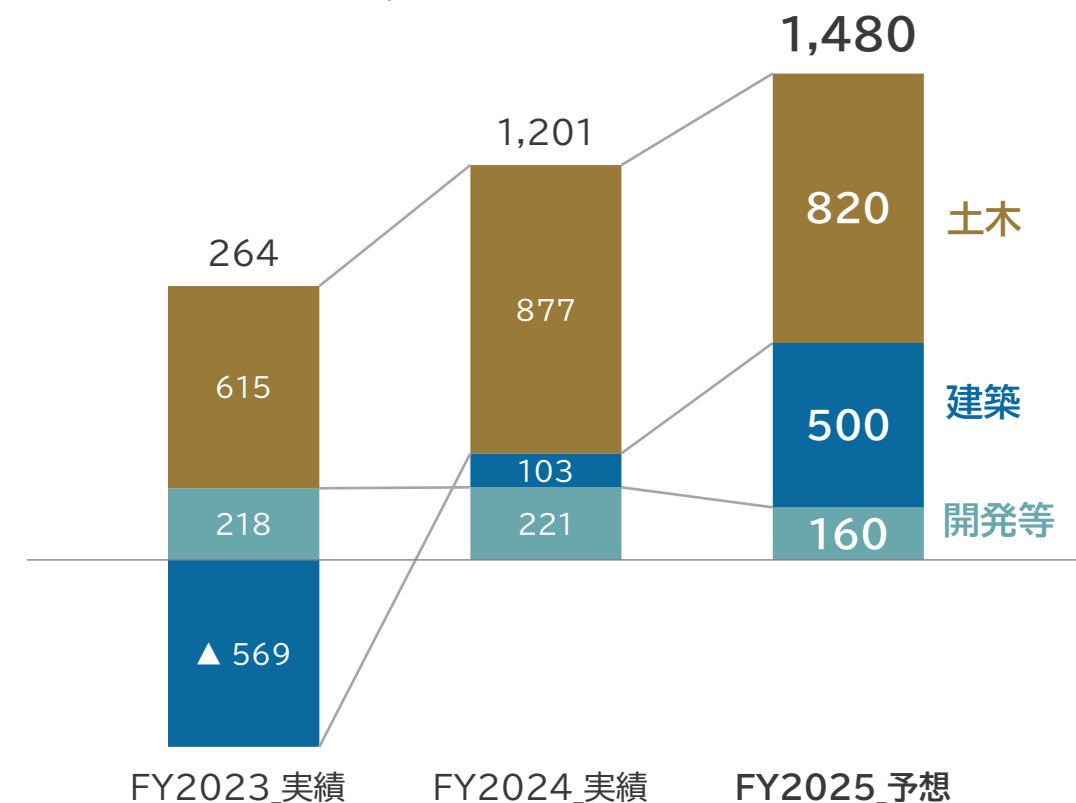
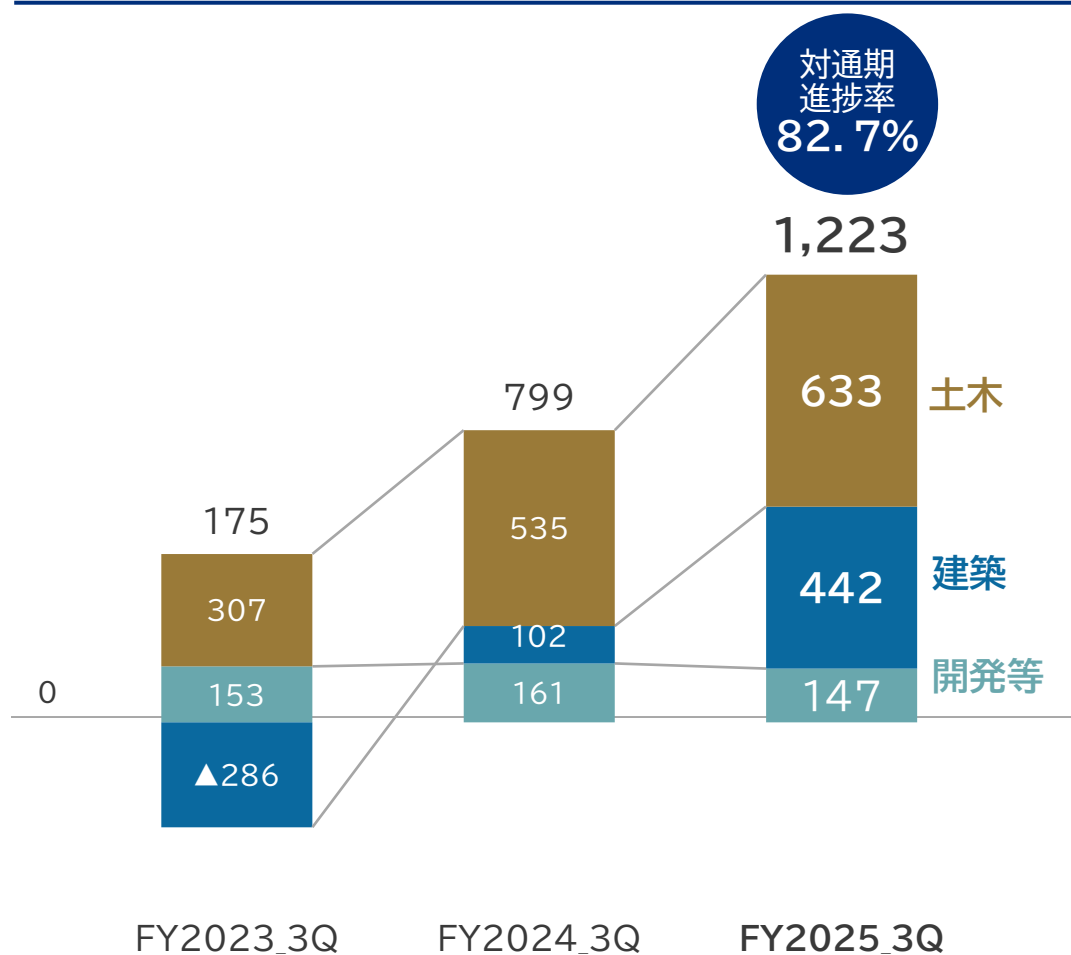
第3四半期実績は、販管費の増加を売上総利益の増益が上回り、営業利益は対前期で**53.0%**の増益

第3四半期実績

(億円)

通期予想

(億円)



## 3-7. 経常利益

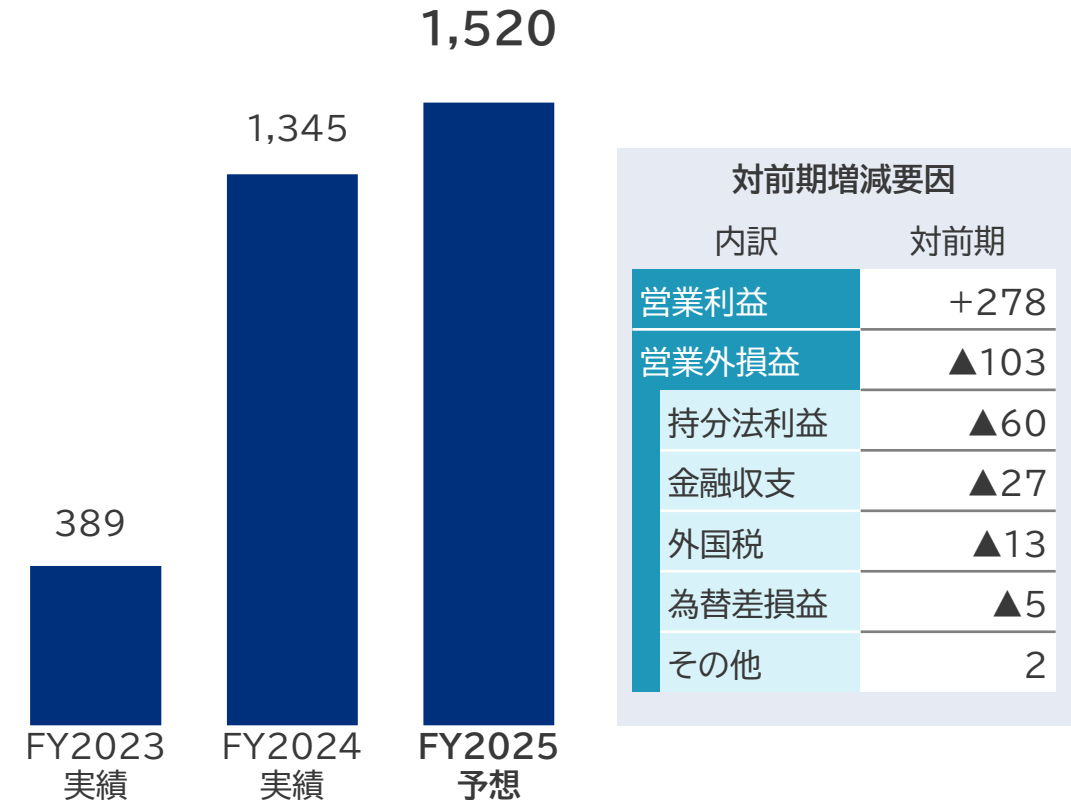
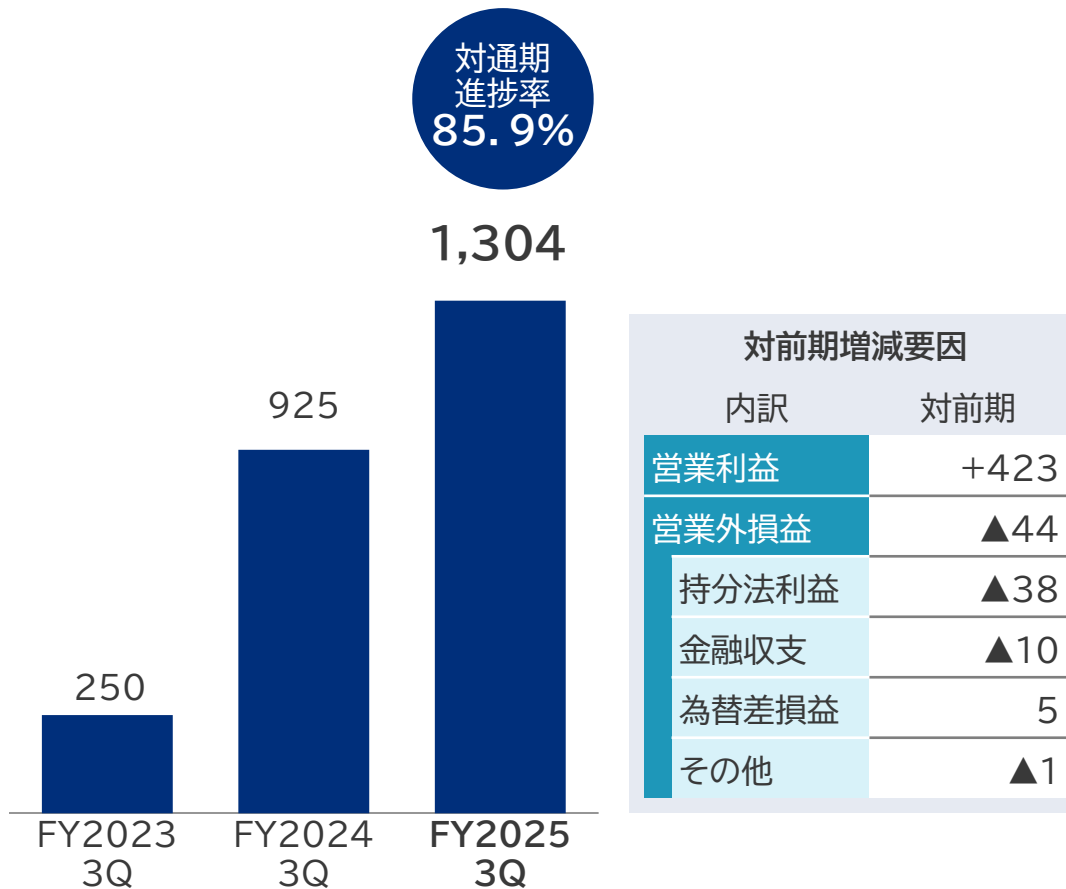
第3四半期実績は、営業利益の増加に伴い、対前期で**41.0%**の増益。

第3四半期実績

(億円)

通期予想

(億円)





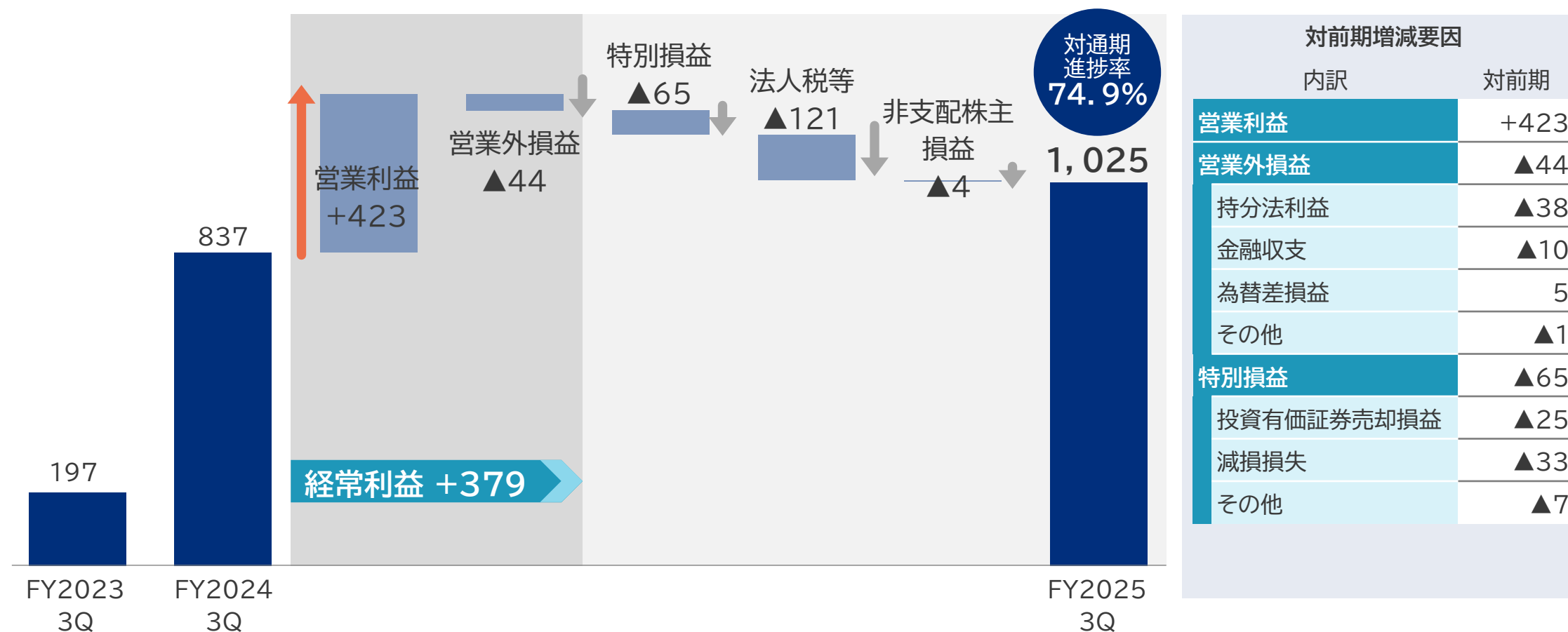
## 3-8. 親会社株主に帰属する四半期純利益【第3四半期】

第3四半期実績は、経常利益の増加に伴い、対前期**22.4%**の増益。

- 単体土木事業・建築事業の採算性改善による営業利益の好転が貢献

第3四半期実績(対前期)

(億円)

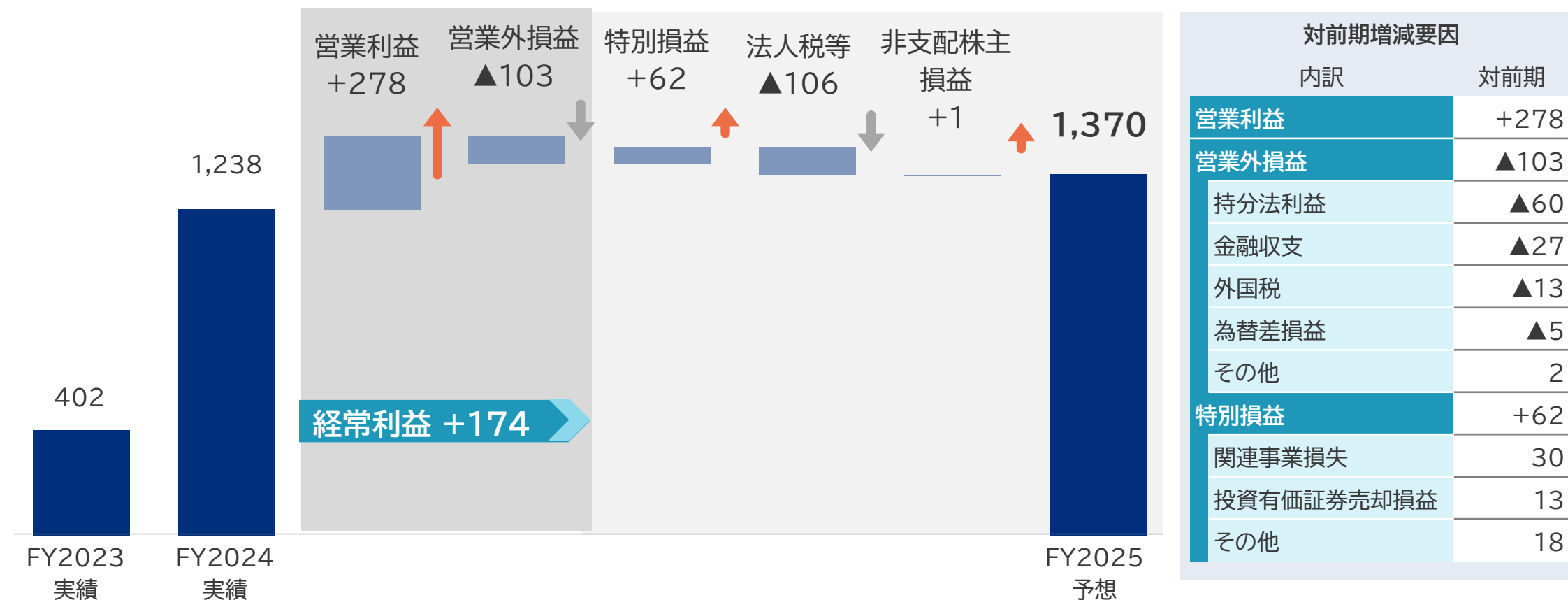


## 3-9. (参考) 親会社株主に帰属する当期純利益【通期予想】

- 単体国内建築の利益率改善を主因に、営業利益は対前期で+278億円の増益。当期純利益では+132億円の増益予想。
- 特別損益では、政策保有株式の縮減の進捗により、投資有価証券売却益の+13億円の増加を見込む。
- 東洋建設の連結影響は通期予想に織り込み済み。

通期予想(対前期)

(億円)



## 4. グループ会社業績(連単差)

### セグメント別内訳

(億円)

	受注				売上				売上総利益			
	第3四半期実績	対前期	対通期進捗率	通期予想	第3四半期実績	対前期	対通期進捗率	通期予想	第3四半期実績	対前期	対通期進捗率	通期予想
当社	13,452	1,142	88.5%	15,200	9,983	▲1,548	69.8%	14,300	1,479	508	75.5%	1,960
土木系 子会社	2,070	263	69.0%	3,000	1,868	256	62.3%	3,000	348	72	75.7%	460
建築系 子会社	1,540	103	61.6%	2,500	1,546	292	64.4%	2,400	226	63	68.5%	330
開発系 子会社 (その他含む)	875	▲12	72.9%	1,200	879	1	73.3%	1,200	125	▲32	65.8%	190
グループ 計	17,938	1,496	81.9%	21,900	14,277	▲997	68.3%	20,900	2,179	611	74.1%	2,940

(注記) 東洋建設の連結影響:受注高441億円、売上高537億円、売上総利益65億円[土木・建築・その他に含む] (販管費:のれん償却額21億円)  
 東洋建設ののれん残高: 3Q末588億円、2025年度期末885億円(予定:端数株式取得に伴う増加)、償却期間7年(均等償却)

### 主なグループ企業

土木	建築	開発・その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大成ロテック</li> <li>■ 成和リニューアルワークス</li> <li>■ ピーエス・コンストラクション</li> <li>■ 東洋建設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大成ユーレック</li> <li>■ 大成建設ハウジング</li> <li>■ ピーエス・コンストラクション</li> <li>■ 大成設備</li> <li>■ 佐藤秀</li> <li>■ 東洋建設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大成有楽不動産</li> <li>■ TAISEI USA</li> </ul>

## 5. バランスシート

有利子負債は前期末から+2,923億円増加し3,434億円のネットデット。  
 自己資本は、自己株式の取得等により、▲39億円減少し、自己資本比率33.0%。

### バランスシート(BS)

(億円)

現金預金 3,007	有利子負債 3,155
政策保有株式 2,650	
	その他負債 12,126
その他資産 18,631	非支配 株主持分 345
	自己資本 8,662 (内、利益剰余金 6,492)

【総資産:24,288億円】  
FY2024末

現金預金 2,644	有利子負債 6,078
政策保有株式 2,958	
	その他負債 11,026
その他資産 20,525	非支配 株主持分 400
	自己資本 8,623 (内 利益剰余金 5,581)

【総資産:26,127億円】  
FY2025\_3Q末



# 政策保有株式

---

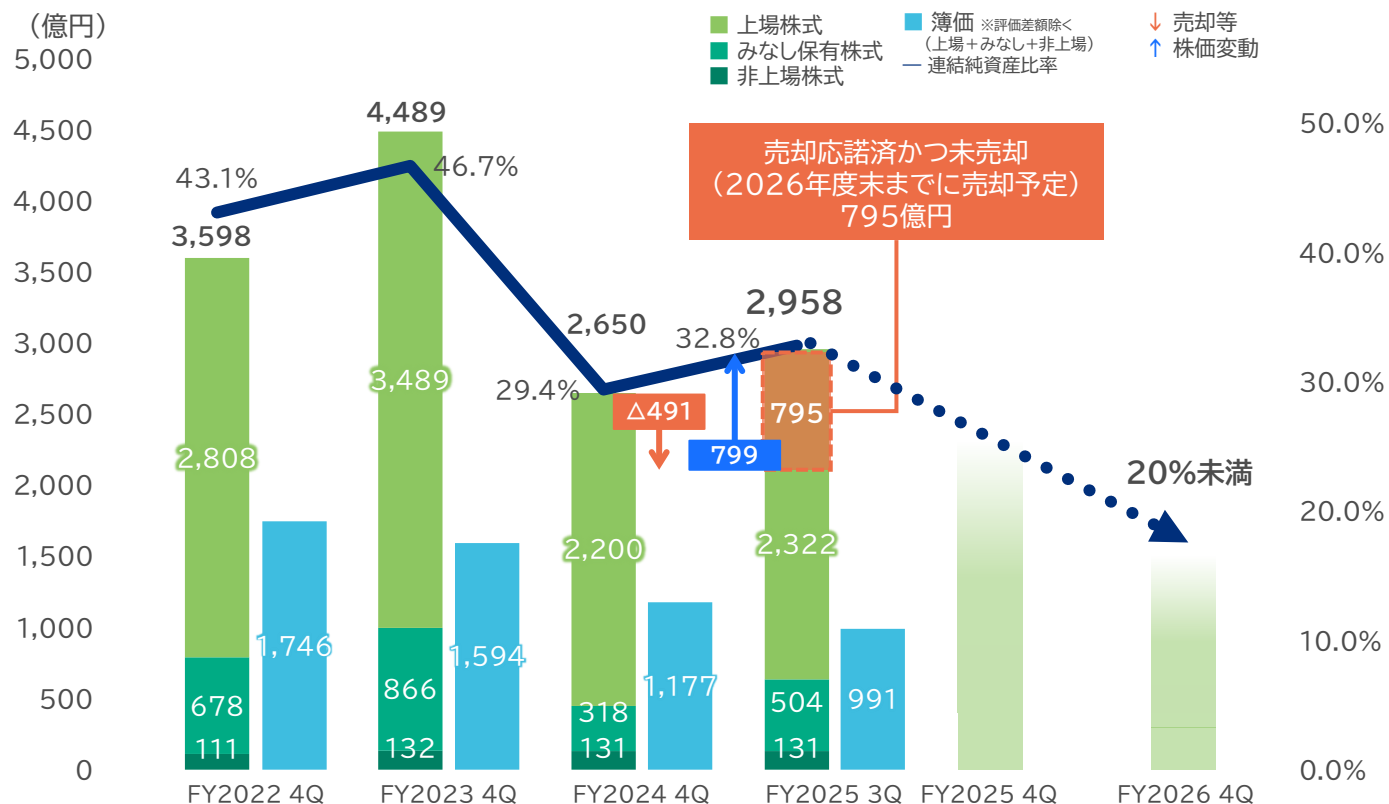
政策保有株式の縮減状況について

# 政策保有株式の縮減状況について

- 縮減目標(2023年12月公表): **2026年度末までに連結純資産額の20%未満**を目指す

現状 (2025年度3Q時点)	政策保有株式残高 2,958億円 連結純資産比率 32.8%	➡	今後の方針	縮減目標を確実に達成すべく 適宜追加売却等を実施
--------------------	-----------------------------------	---	-------	-----------------------------

## 保有残高と連結純資産比率の推移



## 2025年度3Q時点 残高内訳

上場株式	2,322億円
みなし保有株式	504億円
非上場株式	131億円
合計	2,958億円

## 銘柄数の推移 ※上場+みなし

